



第62期

株主のみなさまへ

株主通信

2018年3月21日～2019年3月20日

 ヤマナカ

証券コード：8190

株主のみならずへ



笑顔あふれる 食品スーパーマーケットを極める!!

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。
ここに、第62期(2018年3月21日から2019年3月20日)の報告書をお届けいたします。

株式会社ヤマナカ 代表取締役社長 中野 義久

Q1 当期の取り組み及び業績はいかがでしたか。

当社グループは、2022年の創業100周年を飛躍の年にするために、安定的に利益が出る基盤を作ることを目的に、「笑顔あふれる食品スーパーマーケットを極め、東海地区No.1の誇れる企業を目指す」というビジョンを掲げ、2019年3月期を初年度とする中期3ヵ年計画を策定し、持続的成長に向けた構造改革に全社を挙げて取り組んでまいりました。

販売政策では、当社の電子マネー付きポイントカード「グラッチェプラスカード」へ電子マネーをチャージしていただいたお客様を対象としたチャージキャンペーンの開催や天候不順への対策として雨の日にご来店いただいたお客様へポイントを進呈する「雨の日スタンプカード」の配布、エリア戦略に基づく近隣店舗合同でのチラシ強化などの販売促進策を実施してまいりました。また、日常のお買い物にお困りの高齢者など地域社会の課題解決に貢献するため、2018年5月より西枇杷ンテ館(愛知県清須市)を拠点とするエリアで、「ヤマナカの移動スーパーわいわい号」として移動販売事業を開始しました。

このような結果、当連結会計年度における経営成績は、売上高に営業収入を加えた営業収益は970億51百万円(前期比3.1%減)、営業利益は7億52百万円(前期比571.2%増)、経常利益は8億95百万円(前期比301.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は4億91百万円(前期比469.1%増)となり、大幅に利益改善することが出来ました。

Q2 次期の取り組みはいかがですか。

2020年3月期は、商品ロス対策や経費削減の取り組みは継続した上で、客数や買上点数の増加によって売上高を向上させるために、商品政策の見直しや効果的な販売促進策を実施してまいります。

さらに、当社グループとして「健康経営」を掲げ、従業員一人ひとりがいきいきと働き、心身ともに健康で楽しく仕事ができる職場環境の整備に積極的に取り組み、「笑顔あふれる食品スーパーマーケット」を実現してまいります。

Q3 最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

当期の期末配当金につきましては、1株につき5円とし、中間配当金5円を合わせました年間配当金は、10円とさせていただきます。

今後も厳しい経営環境が続くものと予想されますが、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第63期 通期連結業績予想

中期3ヵ年計画

目的

創業100周年(2022年)を飛躍の年にするために、安定的に利益が出る基盤を作る

ビジョン

笑顔あふれる食品スーパーマーケットを極め、東海地区No.1の誇れる企業を目指す

営業収益

977億円(前期比 0.7%増)

営業利益

7億円(前期比 6.9%減)

経常利益

7億80百万円(前期比 12.9%減)

親会社株主に帰属する当期純利益

4億20百万円(前期比 14.5%減)

TOPICS

ワークライフバランスをサポート

人々の生活が多様化する中、ヤマナカでは従業員が仕事と個人の生活を両立して働けるよう、様々な制度が用意されています。2018年には、より従業員の理解が深まるよう「育児および介護に関するガイド」を作成し、全従業員へ案内をしました。また、2018年7月と11月には「仕事と介護の両立セミナー」を開催し、介護保険制度や介護の現状などについて専門の講師の方よりお話を伺いました。



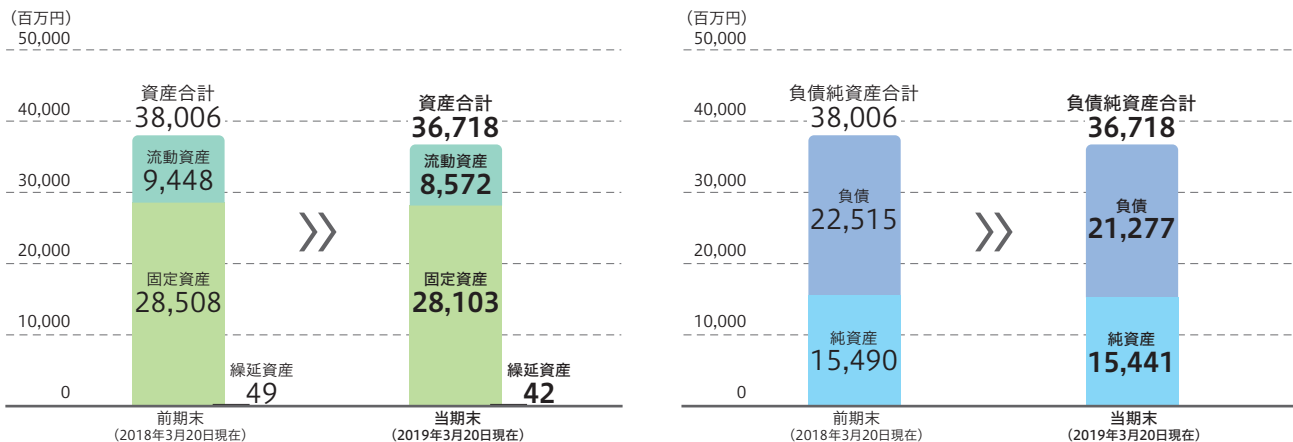
イベントの開催

2018年10月には、JAあいち経済連との共同企画「ポーノあいち さつまいも収穫体験2018」を開催し、20組のお客様をご招待いたしました。また、2019年1月には、愛・地球博記念公園において、第29回となる「ヤマナカ・S&B杯ちびっ子健康マラソン大会」を開催し、約1,000名の小学生のお子様にご参加いただきました。

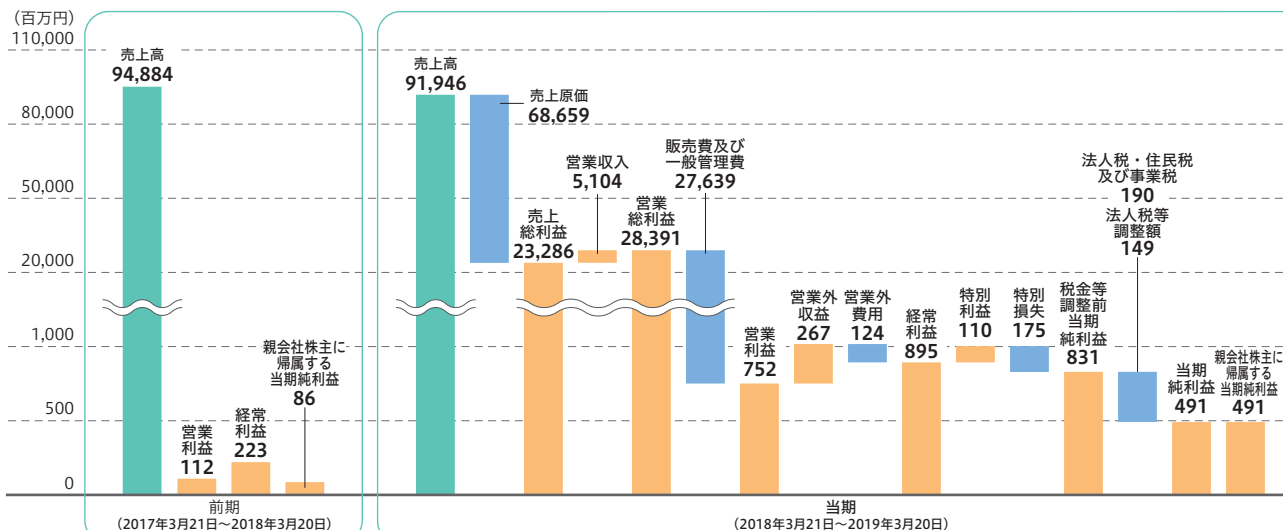


連結財務ハイライト

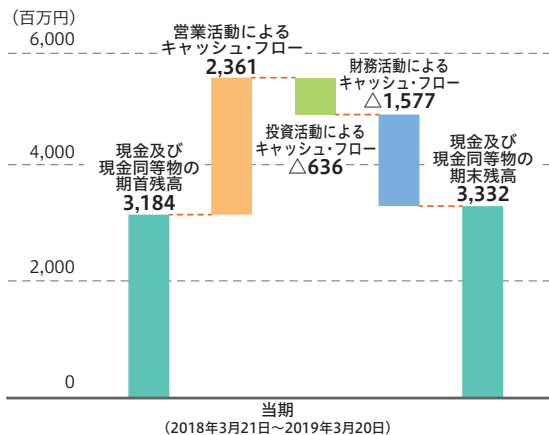
連結貸借対照表



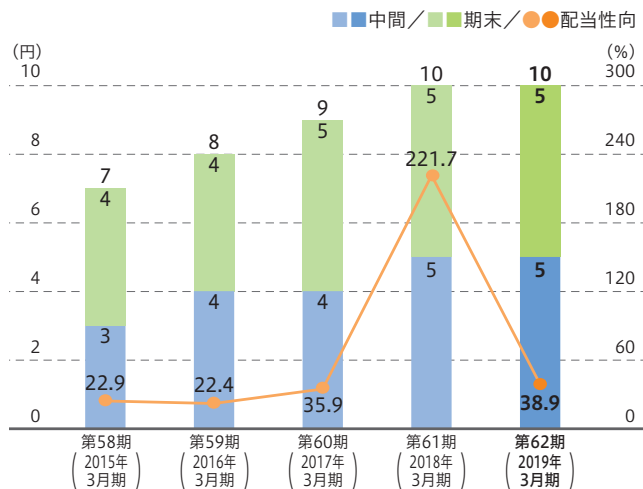
連結損益計算書



連結キャッシュ・フロー計算書



配当性向・配当金の推移



年間推移

営業収益 (売上高 + 営業収入)



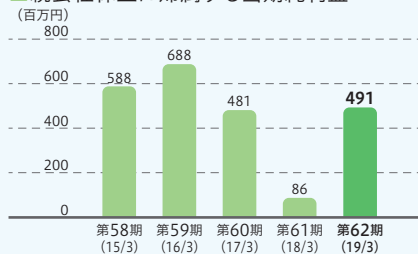
営業利益



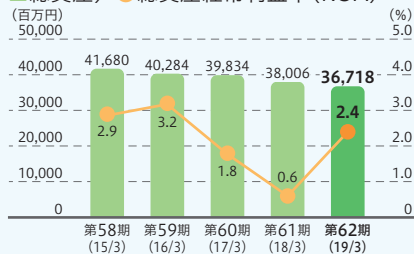
経常利益



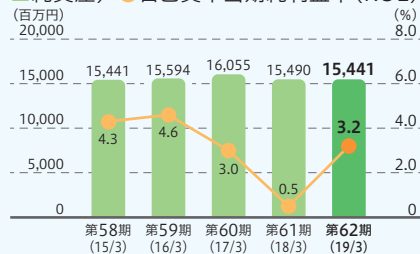
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産 / 総資産経常利益率 (ROA)



純資産 / 自己資本当期純利益率 (ROE)



Pick up!

ヤマナカみなと当知店 オープン



「お客様の笑顔があふれ、毎日楽しくお買い物をしていただけるお店」を店舗ビジョンとし、2019年3月15日(金)にヤマナカみなと当知店(愛知県名古屋市港区)をオープンいたしました。

できたてのお惣菜、お弁当、握りたてのお寿司、焼きたてのパンや旬



ご飯とおかずが自由に選べるチョイス弁当

の生魚の対面販売など、おいしさや鮮度にこだわった売場づくりを進め、各部門では調理の手間の少ないお手軽食材、健康食材を豊富に取り揃えております。

店舗一覧

全**65**店舗

(2019年3月20日現在)

ヤマナカの ビジョン

笑顔あふれる
食品スーパー
マーケットを極め、
東海地区No.1の
誇れる企業を
目指す

● …ヤマナカ

★ …フランテ

尾張地区

11店

岐阜県

2店

三重県

3店

名古屋市内

26店

知多地区

8店

三河地区

15店

企業データ・株主メモ

会社概要

(2019年3月20日現在)

●会社の概要

商号	株式会社ヤマナカ
事業内容	スーパーマーケット事業および小売周辺事業
本社	名古屋市東区葵三丁目15番31号
創業	大正11年2月
設立	昭和32年7月
資本金	42億2,061万円
従業員数	社員979名 パート社員2,927名(8時間勤務換算)

●主なグループ会社

株式会社アイビー プレミアムサポート株式会社 サンデイリー株式会社

●役員一覧

(2019年6月12日現在)

[取締役および監査役]

代表取締役社長執行役員	中野 義久	常勤監査役	福井 久造
取締役副社長執行役員	小川 達也	監査役(社外)	笠松 栄治
取締役専務執行役員	大山 秀樹	監査役(社外)	横井 陽子
取締役(社外)	吉田 雅樹		

[執行役員] (取締役に兼任者を除く)

常務執行役員	高田 博司	執行役員	安井 英和
執行役員	岡本 哲也	執行役員	清水 泰晴
執行役員	笹尾 清隆		

株式の状況

(2019年3月20日現在)

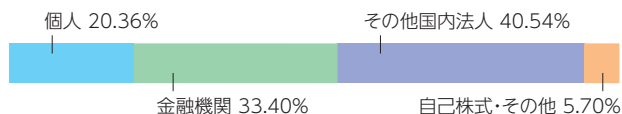
発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	20,425,218株*
当期末株主数	2,855名

*自己株式1,162,111株を含む

株式分布状況

(2019年3月20日現在)

●所有者別分布状況



●所有株数別株主数分布状況(1単元:100株)



株主メモ

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
定時株主総会	毎年6月(ただし20日までに開催)
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月20日 期末配当金 毎年3月20日 中間配当金 毎年9月20日
上場証券取引所	名古屋証券取引所 市場第二部 (証券コード8190)
単元株式数	100株
公告方法	当会社の公告方法は、電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。 公告掲載URL http://www.super-yamanaka.co.jp
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っております。

株主優待制度のご案内

株主優待品として自社取扱商品(米、プライベートブランド商品)を
進呈させていただきます。

対象となる株主様

毎年3月20日現在において100株以上所
有の株主様を対象とさせていただきます。

100株以上1,000株未満

自社取扱商品(1,500円相当)



ご優待の内容

所有株式数に応じて自社取扱商品を毎年
5月下旬にお届けいたします。

1,000株以上

自社取扱商品(3,500円相当)



第62 回定時株主総会決議ご通知

2019年6月12日(水)開催の第62回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項	1. 第62期(2018年3月21日から2019年3月20日まで) 事業報告、連結計算書類および計算書類の内容報告の件 2. 会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
決議事項	第1号議案 剰余金の処分の件 当期の期末配当金は、1株につき5円と決定いたしました。 第2号議案 取締役4名選任の件 取締役役に中野義久、小川達也、大山秀樹、吉田雅樹の4氏が再選され、それぞれ就任いたしました。 なお、吉田雅樹氏は社外取締役であります。 第3号議案 監査役3名選任の件 監査役に福井久造、笠松栄治の2氏が再選され、新たに横井陽子氏が選任され、それぞれ就任いたしました。 なお、笠松栄治、横井陽子の2氏は社外監査役であります。

期末配当金のお支払について

第62期期末配当金は、同封の「配当金計算書」をご確認の上、「期末配当金領収証」により最寄りのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)において、払渡期間中(2019年6月13日から2019年7月19日まで)にお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

なお、銀行等口座振込および株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたので、ご確認くださいようお願い申し上げます。

『ヤマナカは2022年で創業100周年』

ヤマナカ100年の物語 ⑤

昭和40年(1965年)2月には第5号店となる岡崎店を出店し、成功をおさめたヤマナカでしたが、さらなる飛躍のために昭和40年(1965年)6月、体質改善を図る取り組みをスタートさせました。

当時専務だった中野富彦は、体質改善のテーマとして、「急速成長の体質づくり」「数値責任制度」等を掲げ、管理職の責任を明確化し、毎日、報告書を提出させました。ラインの長である各店長には、部下への作業割当、教育と考課などの任務を明確化し、取り組みに不足がある場合は降格、異動させました。

社員一人ひとりについても同様でした。適正検査を実施し、

「適材適所」を徹底。教育訓練によって、知識の習得と実務への応用をサポートしました。富彦は「今にわかってもらえる時がくる」と考え、辛抱強く取り組みを継続しました。

改善の効果はてきめんに表れ、9期(昭和40年7月~41年6月)の売上高は124.1%、純利益は228.8%(いずれも前期比)も成長したのです。昭和43年には、富彦は社長に就任しました。

当時は「流通戦国時代」と言われ、業界再編が進んだ時代でもありました。大手スーパー、百貨店資本に対抗すべく、富彦は東海三県の食品スーパーに大同団結を呼びかけ、昭和45年(1970年)、「中部スーパーマーケットグループ」を結成。商品の共同仕入れや共同開発、共同配送などを実現させました。

